

彗星課月報

Monthly Report of the Comet Section, April, 2006

課長 関 勉 T. Seki

幹事 松本敏一 T. Matsumoto 幹事 佐藤裕久 H. Sato

4月の状況 (佐藤)

73P/Schwassmann-Wachmann 3 (写真 a、b、c、d)

oaa-comet メーリングリスト(以下 oaa-comet ML)に吉田誠一氏から茨城県・花立山天文台での4月17日の彗星観測が次のように報告された。

「73P-B : 思ったよりもはっきり見えました。もやとしたものが広がっています。集光はふつつか、やや弱いくらいで、崩壊しつつある感じはしません。4月初めのバーストの頃は見ていないのですが、バーストした実感はもはや無く、3月末の状態からそのまま成長したような印象です。C核よりは明らかに暗いです。

73P-C : 淡く大きく広がっています。ずいぶん大きくなった感がありますが、空の条件が悪く、尾が判別できていないためかもしれません。中心は相変わらず鋭く集光しており、春霞みの中でも強い集光が分かります。

73P-G : かなり明るくなったようで、空の条件が悪いのに見えました。思ったよりも集光している感じですが、月出前の22時頃よりも、月明があっても高度が高くなった2時過ぎの方が、だいぶ見やすく感じました。」

また、熊本県の宇都宮章吾氏も、同じく oaa-comet ML で次ぎのように伝えてきた。「おはようございます。宇都宮です。5月1日未明の73P-B,Cの眼視観測報告です。B核は、10日前見た時は、集光が弱く、大きく拡散していましたが、今朝は別物のように変化していました。尾は、報告より1.5倍近く伸びているようです。...」

その後も分裂核の発見が続いた。MPEC 2006-H03、H26、H37、H48 及び H61 によると、Z核、AH核、BJ核が、P. Birtwhistle (Great Shefford) によって、AA核、AB核、AC核、AD核、AE核、AF核、AG核、AI核、AJ核、AK核、AL核、AR核、AS核、AT核、AV核、BD核、BE核、BF核、BH核、BK核、BL核、BM核が、E. J. Christensen ら (Mt. Lemmon Survey) によって、AM核、AN核が C. S. Lin ら (Lulin Observatory) によって、AO核、AQ核、AW核が、D. T. Durig ら (Cordell-Lorenz Observatory) によって、AP核、BC核、BI核が、M. Bezpalko ら (Lincoln Laboratory ETS) によって、AU核が、E. Guido ら (New Mexico Skies Observatory) によって、AX核、AY核、AZ核、BA核、BB核、BG核が R. E. Hill ら (Catalina Sky Survey) によってそれぞれ観測された。さらに分裂しているものと思われる。

4月25日、欧州南天天文台(ESO)のニュースリリースには4月23日~24日に FORS1/VLT で写し止めたB核の崩壊画像が公開された。

4月27日は、Carl Hergenrother (JPL) が comets-ml に Vatican 1.8-m 反射によるG核の崩壊画像を公開した。この画像を見て、新潟県の村上茂樹氏は oaa-comet ML で「4月24日午前2時半(日本時間)に観望したときは、確かに13等ほどのG核を確認しましたが、今朝4月29日は見えませんでしたので、変だと思っていました。」と伝えている。

更に、Hubble 宇宙望遠鏡が捉えた4月18日~20日の崩壊するB核の様子が画像や動画で

公開されがその迫力には圧倒される。

C/2006 A1 (Pojmanski)

3月中は緩やかな減光が続いたが、4月に入ってからには拡散が進み減光が早まっていった。

4月6日、宇都宮氏は oaa-comet ML で「C/2006 A1 (Pojmanski) は、この一週間で急速に暗くなり、集光も弱くなっています。」と報告した。

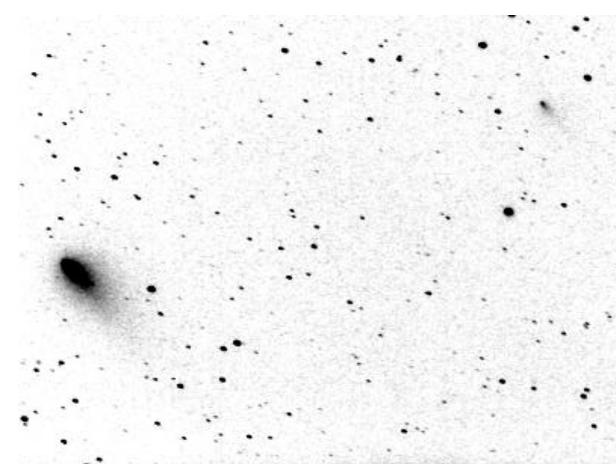
4月中の光度は、9等～11等であった。



(写真 a) 73P-B/Schwassmann-Wachmann 3 2006,04,23 (写真 b) 73P-B/Schwassmann-Wachmann 3 2006,04,25

23h 20m ~ 22m (JST) exp. 2m 60cm L + TMY 400 Film
芸西天文台 関 勉

23h 10.0m ~ 21.0m (JST) exp. 60s x7 MN61 + CCD
三重県伊賀市上野 田中利彦氏



(写真 c) 73P-C/Schwassmann-Wachmann 3 2006,04,21 (写真 d) 73P-B (left) and 73P-G (right) 2006,04,17

23h 13m ~ 28m (JST) exp. 15m 60cm L + TMY 400 Film
芸西天文台 関 勉

0h 50.0m ~ 1h 01.5m (JST) exp. 150s x4 Sky90 + CCD
三重県伊賀市上野 田中利彦氏

次の眼視観測がある。

73P-B/Schwassmann-Wachmann 3

2006	UT	m1	Dia	DC	Tail	p.a.	Trans.	Seeing	Instru.	Observer	Note
Apr.	16.49	9.0	3.0	4	0.1°	-°	-	-	25×15cmB	宇都宮章吾	16×7cmB 併用
	17.54	9.6	3.0	3/	-	-	-	-	75×40cmL	吉田誠一	
	19.73	9.9:	3	4	-	-	2/5	5/10	25×10cmB	佐藤裕久	
	21.55	9.0	4.0	3	10	-	-	-	25×15cmB	宇都宮章吾	16×7cmB 併用
	21.56	9.3	5	4	-	-	3/5	-	40×20cmL	上原貞治	
	22.66	9.7	2	4	-	-	3/5	5/10	25×10cmB	佐藤裕久	

	2006	UT	m1	Dia	DC	Tail	p.a.	Trans.	Seeing	Instru.	Observer	Note
Apr.	28.59	8.5	4.5	5	9	225 °	2/5	5/10	25 × 10cmB	佐藤裕久		
	30.60	7.9	-	-	-	-	-	-	60 × 20cmR	関 勉		
	30.68	7.1	13	3/	0.5 °	230	-	-	10 × 7cmR	吉田誠一		
	30.69	7.1	14	3	-	-	-	-	10 × 2.4cmB	"		
	30.77	7.8	2.0	6	0.5	-	-	-	25 × 15cmB	宇都宮章吾	16 × 7cmB 併用	

73P-C/Schwassmann-Wachmann 3

	2006	UT	m1	Dia	DC	Tail	p.a.	Trans.	Seeing	Instru.	Observer	Note
Apr.	16.49	8.6	1.5	7	0.2 °	- °	-	-	25 × 15cmB	宇都宮章吾	16 × 7cmB 併用	
	17.54	9.1	4.0	s7	-	-	-	-	75 × 40cmL	吉田誠一		
	19.72	9.3	3	6	-	-	2/5	3/10	25 × 10cmB	佐藤裕久		
	21.51	8.4	6	7	10	220	3/5	-	40 × 20cmL	上原貞治		
	21.55	8.4	2.0	7	0.1	-	-	-	25 × 15cmB	宇都宮章吾	16 × 7cmB 併用	
	22.65	9.1	3	7	7	220	3/5	6/10	25 × 10cmB	佐藤裕久		
	25.51	7.7	4	7	-	-	2/5	-	40 × 20cmL	上原貞治		
	28.59	7.9	4	7	13	225	2/5	5/10	25 × 10cmB	佐藤裕久		
	29.76	6.3	12	6	-	-	-	-	10 × 7cmR	吉田誠一		
	30.61	8.1	-	-	-	-	-	-	60 × 20cmR	関 勉		
	30.68	6.4	12	7	0.8	235	-	-	10 × 7cmR	吉田誠一		
	30.69	6.2	12	7	0.4	235	-	-	10 × 2.4cmB	"		
	30.78	7.0	1.5	7	0.5	-	-	-	25 × 15cmB	宇都宮章吾	16 × 7cmB 併用	

73P-G/Schwassmann-Wachmann 3

	2006	UT	m1	Dia	DC	Tail	p.a.	Trans.	Seeing	Instru.	Observer	Note
Apr.	17.74	11.7	0.8	5	-	-	-	-	-	257 × 40cmL	吉田誠一	

C/2006 A1 (Pojmanski)

	2006	UT	m1	Dia	DC	Tail	p.a.	Trans.	Seeing	Instru.	Observer	Note
Apr.	5.79	9.2	1.0	3	-	-	-	-	-	25 × 15cmB	宇都宮章吾	16 × 7cmB 併用
	17.76	9.1	1.9	2	-	-	-	-	-	144 × 40cmL	吉田誠一	
	30.75	11.1	1.4	1	-	-	-	-	-	144 × 40cmL	"	

その他発見された彗星は次のとおり。

P/2006 G1 (McNaught)

4月5.70日 UT、R. H. McNaught は Siding Spring サーベイの画像から約 10 のコマのある彗星を発見した。(IAUC 8699, 2006 Apr. 7) その後の観測から 10.6 年の短周期彗星であることがわかった。

C/2006 GZ₂ (Spacewatch)

4月7.18日 UT、Spacewatch が発見した小惑星状天体 2006 GZ₂ が 4月7.9日 UT、Klet 天文台の J. Ticha と M. Tichy が得た追跡画像から彗星であることがわかった。(IAUC 8703, 2006 Apr. 19)

P/1999 RE₇₀ = (118401)

1999 RE₇₀ = (118401) が 2005 年 11 月 26 日、ハワイの Gemini North Telescope で得た画像から p.a. 90° に 7" ほどの尾のある彗星であることがわかった。(IAUC 8704, 2006 Apr. 24)

その他比較的明るい彗星は、C/2005 E2 (McNaught)、C/2004 B1 (LINEAR)、71P/Clark、C/2003 WT₄₂(LINEAR)、41P/Tuttle-Giacobini-Kresak などであった。